

平成30年度氷川保育園事業計画・収支予算(抜粋)

1. 運営方針

今年度の重点計画として、地域の中で子育て支援の役割と機能を十分果たしていきたいと思います。そのためには、保育士の資質向上を図り地域における保育力向上の取り組みや、ホームページや子育て通信による情報の発信を積極的に行い、誰もが利用しやすく笑顔で溢れた保育園を目指していきたい。

安全対策では、乳幼児が長時間生活する保育園では、災害の他にも不審者の侵入、感染症の拡大等、様々な場面での安全管理が必要となります。特に、低年齢児が全体の40%を占めるので、保育中の事故や怪我については、万全を期す必要があります。ヒヤリハットを有効に活用し園全体で取り組み、保育リスクマネジメントに努めてまいります。運営面では、定員割れの現状を踏まえて、効率的な職員配置及びクラス体制や無駄を省いた運営を心掛けています。また、ここ数年の傾向として低年齢児の途中入園者があるため、保育士の確保が課題となっていますので、関係機関や民間の人材センターを活用し対応を図ってまいります。

2. 保育方針

- 1、奥多摩の四季折々の自然を通じて、子ども達に様々な経験を積ませ、その中心身ともに成長していける保育を目指します。
- 2、一人ひとりの個性や自主性を大切に保育の実践。
- 3、地域のニーズに沿った保育サービスを提供する。

年間の保育目標

- (感謝)・・・ありがとうの保育
- (慈悲)・・・思いやりの保育
- (畏敬)・・・物を大切にする保育

3. 管理運営部門

施設環境整備
安全管理
栄養管理
健康管理
家庭・地域との関係
職員処遇
保育課程
年間計画表

詳細は事業計画書をご一読ください。

資金収支計算書(当初予算)	
勘定科目	保育園会計
事業活動収入計	108,975,000
事業活動支出計	103,852,000
事業活動資金収支差額 (-)	5,123,000
施設整備等収入計	0
施設整備等支出計	3,000,000
施設整備等資金収支差額 (-)	-3,000,000
その他の活動による収入計	0
その他の活動による支出計	0
その他の活動資金収支差額 (-)	0
予備費支出	2,123,000
当期資金収支差額合計 (+ + -)	0
前期末支払資金残高	23,813,814
当期末支払資金残高 (+)	23,813,814